

第49号

日置市ボランティアだより



■編集・発行 社会福祉法人日置市社会福祉協議会 ボランティア活動センター
 本 所 日置市日吉町日置 1132 番地 1 TEL099-246-8561
 東市来支所 日置市東市来町湯田 3264 番地 TEL099-274-6565
 伊集院支所 日置市伊集院町郡一丁目 100 番地 TEL099-272-2306
 吹上支所 日置市吹上町中原 2847 番地 TEL099-296-5257
 ★ホームページアドレス URL www.hiokishi-syakyo.com/



新しい自分と出会うために、また、社会との新しい接点を見出す機会として、あなたもボランティア活動に参加してみませんか。

ボランティアは、年齢を問わず、「いつでも、どこでも、誰でも、気軽に、楽しく」参加できる活動のことです。今、地域で何が求められ、どんな活動が行われているのか。また、自分にできることは何か。

まずは、ボランティア活動を始める第一歩として、興味や関心のある講座や研修会などに足を運んでみませんか。ボランティア活動センターは、市民の皆様の自主的・自発的な活動を応援・支援しています！

平成29年度 参加者募集中！

親子で学ぶ 防災講座

日置市社会福祉協議会では、『親子で学ぶ防災講座』の受講生を募集いたします！

いつ起こるかわからない災害について正しく理解し、日頃から防災について家庭でも意識して、家族で情報を共有する機会にしてみませんか。市民の皆様のご参加をお待ちしています。

日時 平成30年3月11日(日) 10:00～13:00(受付は9:50から)

会場 日吉老人福祉センター(日置市日吉町)

対象者 日置市内の小学生・中学生・高校生とその保護者など
※小学5年生以上は、子どものみの参加も可能です！

定員 50名(先着順)

受講料 無料！

内容 ★非常食作り(専用ポリ袋を使つての非常食作り)
★避難場所の確認 ★防災リュックの中身について紹介
★ワークショップ(ビニール袋を使つて雨合羽作り)



申込み お電話にて日置市社会福祉協議会本所(099-246-8561)へ
平成30年3月7日(水)までにお申込みください！



その他 送迎が必要な場合は、申込みの際にお伝えください！

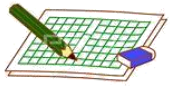
▼送迎車コース ※乗降場所は次のとおりです。その他の場所については、お気軽にご相談ください。

- ① [伊集院・東市来方面] 日置市役所本庁(9:00 発) ⇒ 日置市役所東市来支所(9:20 発)
⇒ 総合福祉センター(9:30 発) ⇒ 会場(9:50 着)
- ② [吹上方面] 吹上中央公民館(9:20 発) ⇒ かめまる館(9:35 発) ⇒ 会場(9:45 着)

リユース事業
学用品等譲渡会

防災講座と同日開催！

日置市社会福祉協議会では、生活困窮世帯等の児童・生徒の修学を支援することを目的に、「生活困窮世帯修学支援事業(リユース事業)」を実施しています。防災講座当日は、これまでに市民の皆様からお寄せいただいた制服を含む学用品等の譲渡会も実施します(希望される方は、直接、会場にお越しください)。※今回の譲渡会に限り、欲しい方の対象世帯は不問です。お気軽にお越しください。※新たな学用品等の寄贈受付は4月1日以降から開始予定(平成30年卒業生限定)



日置市社会福祉協議会では、平成20年度から「福祉作文コンクール」に取り組んでいます。今年度も、福祉について学んだことや自分が思うことなどの生活文をはじめ、福祉を題材とした本の読書感想文などを児童生徒の皆さんに呼びかけたところ、13点(小学生9点・中学生3点・高校生1点)の応募がありました。児童生徒の素直な心情が綴られた作品は、どの作品も優劣つけがたいすばらしいものでしたが、その中から最優秀賞1点・優秀賞1点・入選4点を選者しました。今号では、最優秀賞・優秀賞として選ばれた2作品を紹介します。

●最優秀賞

わたしのひいおばあちゃん

伊作田小学校 一年 あかつか ゆう

わたしのひいおばあちゃんは九十二歳です。いまでもとてもげんきです。おおきなはたけにたくさんのおやさいをつつて、ひろいおうちでひとりですんでいます。わたしやかぞくがあそびにいくと、だれけ。ゆうちゃんけ。おおきくなつたね。なんねんせいになつたね。」
「かならずきいてきます。ほかのかぞくやおねえちゃんの名まえは、すぐには覚えていないことがおおいですが、わたしの名まえは、いつもおぼえていて、一ばん大ききにやんでくれます。」
わたしは、どうして、みんなの名まえがおもいだせないのか、とてもふしぎですが、おもしろくてわらつてしまっています。
ひとりぐらしのひいおばあちゃんのおせわは、ひいおばあちゃんのごもたちがしています。ひをけすのをわすれてしまうので、ごはんをもつていたり、そうじをしたり、びょういんやおふろにわれていたりします。
わたしもときどき、はたけのおやさいをとったり、はこんだりするのをつたいます。
ひいおばあちゃんのおやさいは、おおきくて、とてもおいしいので、いただきます。わたしがつたいをすると、ひいおばあちゃんは、にこにこわらつて、「ゆうちゃん、ありがどうね。」
「いつもちきれないほどたくさん、おいしいおやさいをもたせてくれます。」
このまえは、せんぶうきのつけかたをわすれてしまつて、こまつていました。おばあちゃんが、「このスイッチをおしてごらん。」
「なんともおしえていましたが、ひいおばあちゃんは、ただただへんじをするだけでした。わたしがスイッチをおすと、ありがどう。ゆうちゃん。」
と、につりわらつてくれたので、うれしかったです。わたしには、しんばいなことがありません。それは、ひいおばあちゃんが、わたしのなまえをいつかわすれてしまわないか、ということなんです。
なまえのほかにも、いつしよにおしやべりしたと、やあ

そんだこと、おやさいをつつてわらつたことなど、たくさんのおもいでをわすれてほしくありません。だいすきなひいおばあちゃんが、わたしたちのことをわすれてしまわないように、これからもたくさんあそびにいつて、わたしにできるおつたいをいほいたいなんです。そして、いつしよにおしやべりをして、わらつたのしいじかんをもつと、もつといほいたしてすこしてきたいんです。ひいおばあちゃん、ながいきしてね。ぜつたい、ぜつたいね。」

●優秀賞

わたしがたすけたい

吉利小学校 三年 みつとみ かんなん



言語ちようかくしつ。」
わたしは、お母さんに聞きました。弟が、言語ちようかくしの先生のところに言葉の練習に行つていからです。お母さんは、
「話す、聞く、食べることを教えるプロの先生だよ。いっしょによくん練してりようくんが上手に話せるようにしてくれるんだよ。」
と教えてくれました。弟はわたしを、
「あんなおねえちゃん。」
とよびます。「かんなん」という名前がうまく言えないからです。こう音しようがというもので、ほかにもたくさん言えない言葉があります。でも、いつもわたしの顔を見て一生けんめい話すので、わたしも一生けんめい聞いています。弟が小さかつたとき、わたしに、「パンク、パンク。」
と何とも言つてきたことがありました。わたしには、「パンク」と聞こえたのです。でも、弟は、ちがうことをつたえたいようで、なきそつな顔をしていました。わたしが分からなくて、まづつていると、弟はあきらめて、指で指しに行きました。それは、アイツツツでした。つたわらないときは、言う方も、聞く方も、心に雲がもやもやかかつたようになし、気持ちになります。
夏休みに、
かんなんも、りようくんのくん練を見に行つてみる。」
とお母さんが聞きました。わたしは、
行つてみたい。どんなことをするのか、見てみたかつたの。」
と、わくわくしながら、行く日を待ちました。

いつしよに行つてみると、やさしく声をかけてくれるにこにこの先生がまづていました。弟は、いすにすわつて、せ中をのぼして、
「あいつ、よろしくおねがいます。」
と言いました。くん練では、カードの絵を見て、その言葉を一字ずつつくり答えたり、反対から読んだり先生が正しく発音した方を当てるゲームをしたりしました。それから、お口の体そうで、したを左右に動かしたり、ぼうを使つて上手に発音ができるように練習したりしていました。弟は、わたしが見ているから、少しはりきつていました。でも、大きく口を開けてぼうを入れたり、したをガーンでさわられたりして、
「たをほわほわにして。」
と言われて、大へんそうでした。でも、弟が何度もがんばつていたので、やりたくなるように、先生がやさしく分かりやすく教えてくれていんだな。りようくんにびつたりの教え方をたくさん知つていから、すこいな。」
と思いました。

わたしは、よく弟とやつている遊びがあります。それは、しりとりです。お母さんが、
「りようくんの言葉の練習になるから、つき合つてね。」
と言つたからです。わたしは、家族の中で、弟がしゃべつていることを一番上手に聞きとれるようになりたくて、いつも近くに行つてよく聞くように気をつけています。わたしが分かつてあげると、弟はうれしそつな顔をします。わたしも、うれしくなります。
今日も、お母さんと弟は、言葉の練習をしています。わたしもどんなことをするのかを、よく見るようにしています。言葉の練習は、いろいろな方ほうがあつて、楽しいです。見学に行つて、言語ちようかくしの先生の様子を直せつ見ることができてよかつたです。
わたしは、みんなが楽しく話せるように、言語ちようかくしになりたいという気持ちが強くなりました。うまく話せることが、当たり前ではない人といつしよに、いろいろな練習をして、上手に話せるようにたすけたいです。
わたしの弟も、さい近少しずつはまり話せる言葉がふえてきました。またいつしよに、いほいしりとりしよな。

